

栃木県農業大学校 キャンパスガイド

CAMPUS **2019** GUIDE

目指せ園芸大国とちぎ!



沿革

明治38年「下延生農業補習学校」が芳賀町下延生に創設され、2019年には、創立114年になります。

教育目標

本校は、新たに就農しようとする青年、その他本県の農業を担うべき者を対象に、優れた農業経営者として必要な能力の向上と幅広い教養さらには人間性の涵養を図るため、実践的教育と研修を行ないます。

本 科

【教育方針】

優れた農業経営者等を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が修得できるよう、栽培や飼養管理及び経営管理等に関する講義・実験と実習の履修時間を概ね50:50の割合で実施し、また仲間づくりや責任感・協調性を育むため、本科1年次を全寮制としています。

農業経営学科

■土地利用型作物(水稻・麦・大豆・露地野菜等)
水田センサーなどICT技術を活用した水稻栽培や水田における露地野菜(たまねぎ)の栽培など収益性の高い水田農業経営に取り組んでいます。



園芸経営学科

野菜専攻

■施設野菜(いちご・トマト等)
いちごでは、「とちおとめ」や「とちひめ」、「スカイベリー」など県が開発した品種をいち早く取り入れて最新の栽培技術を学んでいます。
また、トマトでは平成28年度から、次世代型最先端(高軒高)ハウスで促成長期栽培に取り組んでいます。



花き専攻

■花き(シクラメン・ポインセチア等の鉢物、きく、カーネーション、ゆり、等の切り花)
平成27年度から、花きハウスで「地中熱利用省エネ施設」を導入し、利用実証を行っています。また、県が開発した新品種の栽培も積極的に取り入れています。



果樹専攻

■果樹(なし・ぶどう・りんご等)
グローバルG.A.P.に加えて、なし及びぶどうの「根圏制御栽培」に取り組んでいます。



畜産経営学科

■酪農・肉用牛経営(飼養管理・人工授精、飼料作物栽培等)

高能力牛を導入して牛群改良に取り組むとともに、ICTを駆使した新牛舎(ドリーム牛舎)を活用して、魅力的な畜産経営を学んでいます。



「各学科共通」

- GAP(農業生産工程管理)についての知識・実践力を取得します。
- 作物の整理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理の為の知識・技術を習得します。
- 作物の生産性を考慮した土壌及び肥料の知識を習得します。
- 食品の安全性や農畜産物の加工法・保存法などの知識を習得します。
- 農畜産物のマーケティング等に関する知識を習得します。
- 農業機械の安全効率利用に関する知識・技術を習得します。
- 自ら生産した農畜産物を加工まで一貫させ、6次産業化に対応するための知識・技術を習得します。



民間との連携による教育の充実

【学校法人三友学園との連携協定】

食の専門家の育成を目指す学校法人三友学園と連携し、相互に講義や実習を実施する他、学校祭・学園祭に出店しています。

【農機メーカー等との連携協定】

農機メーカー及び全国農業協同組合連合会栃木県本部と協働して、最新の農業機械の操作や安全対策の研修等を行っています。



三友学園での加工実習



農機メーカーの提供でGPS搭載の田植機の実演

グローバルG.A.P.認証の取得

次代の農業経営者に必須であるG.A.P.(農業生産工程管理)教育の強化のため、平成29年11月に国際的な認証制度であるグローバルG.A.P.の認証を露地梨で取得しました。

全国の県立農業大学校におけるグローバルG.A.P.の認証取得は、新潟県(水稲)、埼玉県(さつまいも)に次いで3番目の取組となります。

平成30年10月8日付けで「りんご」「ぶどう」の追加認証を取得しています。



ドリーム牛舎での飼育管理



畜産教育の充実を図るため、新しい畜産教育施設「ドリーム牛舎」を平成30年3月に整備しました。

ドリーム牛舎はICT等の先端技術を活用した最新式の家畜管理施設で、乳用牛と肉用牛を一体的に飼養できる複合型牛舎です。

監視カメラや繁殖・分娩管理機器等により、情報通信技術を活用して牛舎にいなくても発情や分娩の状況を確認できます。

畜産に「夢」を持った学生がたくさん入学し、ドリーム牛舎で様々な技術を学べるよう、教育内容も充実させています。

次世代型トマトハウス(高軒高)ハウスでの栽培管理

高軒高ハウスは、ハイワイヤー栽培によるトマトの促成長期栽培が可能で、高収量が見込める先進的なハウスです。

ICT技術を活用した複合環境制御やスマートフォン等による栽培環境データの把握が可能で、学生・研修生は先進的な栽培技術を学ぶことができます。



研 修 科

【研修方針】 農業の担い手を目指す意欲ある者を対象として、農業経営に必要な基礎的知識や専門的な栽培技術の研修と、経営の高度化を目指す農業経営者を対象として、ビジネスプランニング等資質の向上を図るための研修を行います。また、農業機械の技術者養成のための研修を行います。

■ 就農準備校「とちぎ農業未来塾」

農業経営に必要な基礎的知識や専門的な栽培技術の研修

コース	内 容	研修期間(日数)	研修曜日
就農準備 基礎研修	農業経営や栽培技術の基本的内容を中心とした講義・実習	4月～1月(30日)※1	土曜日
		4月～1月(30日)※1	木曜日
就農準備 専門研修	いちご・施設野菜・露地野菜・果樹の農業経営・栽培技術の専門的内容に関する講義・実習等	4月～1月(100日)※1	月・水・金 曜日

※1 他管理登校日数日

■ 先進的農業経営者養成研修「とちぎ農業ビジネススクール」

需要に即応した商品づくりや、農業者自らが販路を切り拓くなど経営の高度化を目指す農業者を対象に実践的な研修を行い、本県農業をリードする先進的な農業経営者を育成するための研修

■ 農業機械研修

農業機械を計画的・効率的かつ安全に利用できる技能者を養成するための研修

1 農業機械士養成研修(前期・後期)

農業機械士(農耕車限定大型特殊免許、けん引免許の取得を含む)を取得できます。

2 農業機械安全効率利用研修

農業機械を安全に利用するための技術を学びます。



とちぎ農業未来塾



とちぎ農業ビジネススクール

卒業生から



「農大で学び活かしたこと」

上野 貴俊

畜産経営学科
(平成18年度卒業)



県内の普通科高校を卒業後、実家を継ぐことを見据えて農業大学校に入学しました。農大時代は学校での勉強の他、夏休みに農家で長期実習をしたり、オーストラリアやニュージーランドでファームステイをした経験で、就職への意思が強くなりました。卒業後は、大規模肥育農場で2年間研修を行った後、実家に就農しました。地域の仲間やとちぎ和牛指定生産者とは、定期的な集まり情報交換を行っており、最近では若手農業者の数も増え、互いに良い刺激になっています。農大時代の寮生活では、同級生の他、先輩後輩など学科を越えた様々な仲間と毎日過ごしますが、そこで培った人との繋がりは今でも役に立っています。



「海外研修を活かした就農」

篠原 貴大

園芸経営学科 野菜専攻
(平成27年度卒業)



私は、県内で農業仲間を作りたいと思い入学しました。在学中にトマトを中心に学び、特に実習を頑張りました。また、農大では1年生が入寮制のため、不安はありましたが、24時間友達と寝食を共にし、深い絆が生まれ、現在でも交流があります。

卒業してからは、人脉を広げたり、つらい経験をして農業に活かしたいと思い、ハワイに海外研修に行きました。時々何をしに来たか悩むこともありましたが、友好的に接してもらったこともあり、帰国してからもいい経験と胸を張ることができます。また、自信もつきました。

現在は、家業の農業を継ぎましたが、時々、海外研修をした同期と集まり、日本各地で農業フェスの開催計画を立て実現することが夢となっています。また、自分でも、外国人の受入れをして指導をしていきたいと思っています。

在校生から



「水田農業の可能性を学ぶ」

野川 龍弥

農業経営学科 1年



農業大学校では、講義と実習が50:50の割合で行われており、将来栃木の農業を担えるよう、より実践的に学ぶことができます。講義と実習のつながりが理解できる内容となっているため、身に付いていることを実感しています。

私が所属する農業経営学科では、水稲・麦・大豆・露地野菜の栽培技術だけでなく、水田を活用した収益性の高い露地野菜導入についても学ぶことができます。

特に実習では、自らが学び、研究したいテーマを卒業論文として研究することができるので、卒業後の経営にも役立てられ、とてもやりがいを感じています。



「学生自治会での活動」

島田 雅士

園芸経営学科 野菜専攻 2年



学生自治会では、学校生活の充実を目指し、様々な活動に取り組んでいます。私は学生自治会長として、春季・秋季スポーツ大会をはじめ、東関東スポーツ大会、そして農大祭や各サークル活動の活性化に取り組みました。

最大のイベントである「農大祭」では、夏休み前から企画をわり、新しい団体の出店、各ブースの見直し、ビンゴ大会など、たくさんの企画を取り入れ、素晴らしい「農大祭」が開催できたと自負しています。また夜の「中夜祭」もたくさんの学生が参加し楽しい時間を過ごすことができました。

農業大学校は、規模の大きな学校ではありません。ですが、だからこそ一人一人の思いが明確な形になる学校でもあります。皆さんも、学生自治会に参加し思いを込めていきましょう。



「花き専攻での活動」

落合 優多

園芸経営学科 花き専攻 1年



花き専攻では、様々な品目の花を教材として扱っています。鉢物はシクラメンを中心にポインセチア、観葉植物など、切り花ではキク、カーネーション、リンドウなどを栽培することができます。実習は、それぞれの品目について播種から開花までの一連の管理作業を実践、またイベントでは、お客さんに直接販売もしています。花き専攻は他の学科専攻よりも人数は少ないですが、その分行動力や積極性、連携がとれみんなで協力しながら仲良く、楽しく学ぶことができる魅力的な学科です。



「果樹農家を目指して」

本田 祥輝

園芸経営学科 果樹専攻 1年



果樹専攻では、栃木県に多い梨、ブドウ、リンゴの他、ブルーベリー、カキ、キウイフルーツなども栽培し、根柢制御栽培など新しい技術なども学べます。

私の家は梨を作っている農家です。自分も将来梨を作りたいと思い農業大学校に入りました。果樹専攻は人数が少ないですが、みんな楽しく活動しています。



「栃農大で学べること」

田口 華

畜産経営学科 1年



私が在籍する畜産経営学科では、畜産に関することを座学、実習共に一から学ぶ事ができ、2年次では酪農、肉牛、飼料作物の専攻に別れ、より専門的なことを学びます。農場当番、講義、実習など忙しいながら、充実した毎日を送っています。

私は県外から本校に入学しましたが、栃農大の魅力は、実践的な学習が出来ること、様々な資格が取れること、そして畜産関係の就職先が豊富なことだと思います。他にも農大祭などの校内行事やサークル活動など、魅力が沢山あるので気になった人は是非、1度栃農大に来てみてください!

[本科生の経費・特典・進路等]

経費等

- 入学金 5,650円
- 授業料 年額 124,800円
- その他の経費 教科書代、校外学習費、寮生食費（1年）、学生自治会費、後援会費等
1年 年間 約 396,800円 ・寮は年末年始等を除き利用可能です。
2年 年間 約 116,800円
- その他
 - ・本校在校生は、日本学生支援機構等の奨学金制度、母子寡婦福祉資金貸付制度の貸付対象となります。
 - ・本校は、栃木県が認める次世代農業人材投資事業（準備型）の研修機関であり、本校在校生のうち、新規就農希望者（雇用就農を含む）で一定の要件を満たす者は、最長2年間、原則、年間最大150万円の給付対象となります。

特典及び各種資格の取得

- 1 卒業生には、専門士（農業専門課程）の称号が付与されます。
- 2 本科の卒業見込者は、4年制大学の3年次への編入学の受験資格が得られます。
- 3 卒業生は、人事院規則等の規定では、短大2卒と同等に取り扱われることとなります。
- 4 在学中に次の資格免許取得支援のための授業を行います。

全学科共通

- 農業機械士 ● 大型特殊（農耕車）免許 ● けん引（農耕車）免許

畜産経営学科

- 家畜人工授精師

資格取得教養講座

- 毒物劇物取扱者（一般・農業用品目） ● 危険物取扱者（乙種第4類・丙種）
- 日本語ワープロ検定（日検2級～4級） ● 文書デザイン検定（日検2級～3級）
- 情報処理技能検定（日検3級～4級） ● 簿記（日商簿記検定3～4級）

校外受講の斡旋

- フォークリフト運転技能 ● アーク・ガス溶接技能

進路 平成30年度卒業生（本科63名）

（平成31年3月14日現在）



- 即就農・研修後就農 6名（野菜 3 畜産3）
- 雇用就農先 柳田米園、Fattoria di 赤坂、みぶストロベリーファーム、(有)T&Tナーサリー、(有)黒崎乳業、(株)kuni'sファーム、(株)コーギーファーム、(株)クオリティ・オブ・ライフ、海外研修
- 主な就職先
 - 〔農業関連団体〕 JAおやま、JAしおのや、JAしもつけ、JAエルサポート、全農パール、全農機械
 - 〔農業・食品関連企業〕 (株)関東甲信クボタ、(株)斗セキ関東、(株)三菱農機、(株)松本産業、(有)那須農機商会、(株)村山金平商店、宇都宮種苗(株)、富士食品工業(株)、井澤いちご園、(株)アドスタッフ、(株)ふじや食品、(株)トリドールホールディングス、(株)アキモ、向島流通サービス(株)、(株)荒井食品、あづま食品(株)、曙フーズ(株)、五月女総合プロダクト(株)、(株)日高屋、(株)エコスグループ
 - 〔公務員〕 高校実習助手、農研機構、家畜改良センター
- 進学先 平成25～30年度卒
 - 酪農学園大学 弘前大学 恵泉学園大学
 - 宇都宮大学 帝京大学 日本農業経営大学校

寮生の 1日

7:00	起床
8:00	朝食
9:00	1時限目
10:40	2時限目
12:10	昼食
13:10	3時限目
14:50	4時限目
16:30	サークル活動
18:00	夕食
19:00	入浴 自主学习
22:00	点呼
23:00	消灯就寝

年間行事 (本科)

4月	入学式
5月	春季スポーツ大会 東関東スポーツ大会 第1回オープンキャンパス
6月	第2回オープンキャンパス
7月	前期試験 第3回オープンキャンパス
8月	夏期休暇
9月	1年先進的経営体実習
10月	推薦入試
11月	校内意見発表会 農大祭
12月	冬期休暇
1月	前期入試 卒論発表会
2月	後期入試



寮



校内スポーツ大会



バーベキュー大会



農大祭



ボウリング大会



校外直売イベント



VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ

栃木県農業大学校

〒321-3233 栃木県宇都宮市上籠谷町1145-1
TEL 028-667-0711(代)
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/index.html>
E-mail:nougyou-dai@pref.tochigi.lg.jp